



学校通信

ときわぎ

令和2年9月29日（火）

通知票が配付されます

校長 宮田 卓郎

今年度は、新型コロナウイルス感染症拡大防止対策により、1学期中に長期間の臨時休業を余儀なくされた関係で、学期で通知票を配付するのではなく、前期と後期に分けて配付することになっています。これは、5月29日付の延岡市教育委員会から保護者向けに発出された文書「新型コロナウイルス感染症対策に係る夏季休業日の短縮等について」に次のように示されていることを根拠にしています。「2 通知票について ○ 本年度は、1学期の通知票の作成・配付は行わない。○ 本年度の通知票の作成・配付は年2回（前期・後期）とし、前期の通知票は、9月下旬から10月上旬に配付し、後期の通知票は3学期末に配付する。」これを受けて本校では明日9月30日に通知票を配付します。前期分の学習の総合評定等が示されています。通知票を見るに当たっての留意点として、各教科共に観点別の評価が基盤となって総合評定が示されています。この観点数は教科によって異なりますが、概ね4観点から5観点で構成されています。授業への取組に関する「関心・意欲・態度」という情意面の評価が最初に示されています。その後、「思考・判断・表現」等、続いて「技能」等、最後に「知識・理解」等というような順序で示されています。もちろん、教科によって観点の表現に若干の違いはありますが、概ねどの教科も同じような構成になっています。「関心・意欲・態度」等の情意評価が最初に示されるのは、それが重いことの裏付けでもあります。年度末に1年間の総合評価が判定されますが、観点別でこの情意評価が思わしくないと高等学校等への進学にも影響します。5、4、3・・・の総合評定ばかりに目が向かいがちですが、是非、観点別の評価、特に「関心・意欲・態度」の評価を意識しておきましょう。

ところで、先日の26、27、28日に地区中学校秋季体育大会が、原則無観客で実施されました。今年度は、どの学校も部活動に大きな制限が加わり、思うような練習ができずに臨んだ大会であったと思います。体力面や熱中症の対応のため、試合時間を短縮したり、水分補給の時間を確保したり、運営に大きなエネルギーをさきました。また、このような運営支援のため各学校5名の保護者の皆様方に御協力いただきました。骨折等のけがが数名出ましたが、何とか大会を終了することができました。支援していただいた方々に熱く御礼申し上げます。

本校の成績につきましては、ソフトテニス男女がそれぞれ団体優勝、サッカーが準優勝、軟式野球第3位、岡富中との合同チームで出場したソフトボールが第2位で5団体が県中学校秋季体育大会への出場を決めました。また、陸上部も男子総合2位で、県体には、男女合わせて19名が出場します。ソフトテニスでも個人戦で男子が優勝・準優勝を含めて5ペア、女子が準優勝を含めて2ペアが出場します。柔道では個人戦優勝と準優勝の2名が出場します。全てのチームや個人が万全とは言えない練習環境でしたが、十分に力を出し切って素晴らしい活躍を見せてくれました。

最後に、生徒会の役員選挙が終わり、新しい役員が決まります。生徒会活動や部活動で第2学年生が、第3学年生の後を引き継ぎ、西階中学校の顔となっていきます。これまで第3学年生が着実に前進させてきた生徒会活動や部活動等の生徒活動を更に発展させて、いろんな場面で学校を支えていってくれるものと心強く思っています。

